

第 1 号議案

# 令和 4 年度事業報告書

**公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する  
事業**

**1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」**

**(1) あかね荘事業**

① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため受入れはありませんでした。

実績 : 延0人(実数0人)の方が利用

② 自立訓練(生活訓練)事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ6,633人(実数37人)、宿泊での延べ利用者8,839人(実数37人)方が利用し、うち8人が地域で自立した生活を送っています。

③ 相談支援事業

一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方(障がい者、家族等)からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ985人の方が利用

**(2) あかねワークセンター事業**

① 就労継続支援(B型)事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製鞆作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ5,320人(実数29人)の方が利用

② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対するの偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放していますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため受入れはありませんでした。

実績 : 利用者数0人0団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,975 人（実数 11 人）、の方が利用し、うち 1 人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 令和 4 年度相談対応件数 1,444 件

精神科救急情報センター相談員研修実施

令和 4 年 10 月 17 日（月）熊本県庁地下大会議室 参加者 66 名

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけではなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績 : 令和 4 年度救急患者数 972 件（助言指導 391 件、外来受診 275 件、入院 260 件、その他 46 件）

その他事業 1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業
-------------------------------

## 1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

- (1) 院長会 年6回開催 (5/26、7/21、9/15、11/17、1/19、3/23)  
: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見集約を行いました。
- (2) 学術研修小委員会 学術講演会を年5回開催  
: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。
- (3) 看護部小委員会 研修会を年2回開催  
: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する看護師等を対象に看護に関する専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (4) 栄養部小委員会 研修会を年1回開催  
: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会をオンラインで実施しました。非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。また、支援エリアを再編し、マニュアルの改訂を行いました。
- (5) コ・メディカル部小委員会 研修会を年2回開催  
: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務するコ・メディカルスタッフ等を対象に専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (6) 薬剤部小委員会  
: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会は実施しませんでした。
- (7) 事務長会 研修会を年2回開催  
: 新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する事務長等を対象に医療経営管理等について研修会をオンラインで実施しました。
- (8) その他  
: 熊本県・熊本市等の開催する会議等への参加を通じ、当協会の精神保健医療福祉に関する取り組み、考え方などの実現を図りました。

## 2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

- 事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。
- 協会誌編集委員会 4回開催 (6/1、9/7、12/7、3/1)

## 3 精神障害者リハビリ事業

### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

- 事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）について、新たなイベントを検討しました。
- 実行委員会 2回開催 (12/1、3/10)

(2) 作品展示への事業協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

- ・「第 58 回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力  
令和 4 年 10 月 21 日（金） 熊本県立劇場
- ・「第 28 回精神障がい者作品展示事業（心の健康フェスタ）」における作品  
展示に協力  
令和 4 年 11 月 27 日（日） 下通アーケード

#### 4 災害時精神科医療機関支援事業

事業内容 : 県内外における大規模災害を想定し、精神障害者の医療支援や被災者のこころのケアを行う精神科医療機関の研修、人材育成、災害対応機器の整備等を行う。

熊精協災害対応訓練の実施（情報伝達）（4/15、8/1、12/1）

熊精協会員ネットワークシステム（LINEWORKS）の構築 令和 4 年 6 月

その他事業 2 : 県・市からの委託事業
----------------------

#### 1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県内 1 件（内熊本市 1 件）

#### 2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域移行支援員が支援活動をする際に困らないよう、アドバイザーを配置し相談に応じる事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るための研修会を支援する。

実績

- ・地域体制整備アドバイザー配置事業  
熊本市関係 3 名配置
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から精神障害者地域移行研修会等は実施しませんでした。

その他事項 : 関連団体への支援事業他
---------------------

#### 1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

##### (1) 熊本県精神科病院協同組合

- ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

## 2 共催・後援

- ・熊本県地域精神障がい者スポレク大会の後援 (04/10/7)
- ・第 19 回熊本アディクションフォーラムの後援 (04/9/25)
- ・第 50 回熊本県精神障がい者家族大会の後援 (04/9/21)
- ・第 58 回熊本県精神保健福祉大会の後援 ((04/10/21)
- ・こころの健康フェスタ「第 28 回精神障がい者作品展示事業」の共催 (04/11/27)
- ・平成 4 年度職場のメンタルヘルス研修会の後援 ((04/12/13)
- ・第 18 回熊本作業療法学会の後援 (05/1/21～22)
- ・認知症市民フォーラム in うき 2022 の後援 (youtube 配信 05/2/1～28 )

## 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- (審査会等への出席) 熊本県精神医療審査会など
- (会議等への出席) 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など
- (研修等への協力) 熊本県弁護士会研修会など
- (医師等の推薦) 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医の推薦など
- (その他) くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

## 4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協 九精協各県理事合同研修会 (長崎 ザ・グローバルビュー長崎) (04/9/16)
- (2) 日精協熊本県支部 熊本県四病院団体会長・支部長懇談会 (04/11/7)  
熊本県四病院団体合同研修会を実施 (05/3/4)

## 5 その他

- (1) 会員の入会・退会について  
なし
- (2) 要望等について  
特になし

## 1 学術講演会

	開催日	演題	講師
1	R4年7月21日	クロザピン最適使用のためのエッセンス～新規抗精神病薬ラシドンの役割～	地方独立行政法人岡山県精神科医療センター医療技術課 課長 矢田 勇慈先生
2	R4年9月15日	精神障害者の『働きたい』を実現するために～IPSによるリカバリー支援～	社会医療法人清和会 西川病院 理事長 林 輝男先生
3	R4年11月17日	うつ病におけるリワークの就労継続について	医療法人社団新光会 不知火病院 院長 松下 満彦先生
4	R5年1月19日	遅発性ジスキネジアの治療とその重要性について	杏林大学医学部精神神経科学教室 准教授 坪井 貴嗣先生
5	R5年3月23日	地域精神医療におけるLAIの是非～入院医療の持続可能性・精神科医とPP3M～	医療法人社団東京愛成会 高月病院 院長 長瀬 幸弘先生

## 2 研修会

### (1) 看護部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R4年10月27日 第82回研修会	オンライン研修会	講演「リーダーシップ スタッフの個性を活かすための管理者の関わりについて」 講師：日本精神科看護協会 業務執行理事 草地 仁史先生
2	R5年2月2日 (コ・メディカル部小委員会、熊本市地域移行支援全体部会合同)	オンライン研修会	テーマ「熊本における精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて～精神障がい者を地域でささえるためにできること～」 講師：医療法人五風会 さっぽろ香雪病院地域連携支援室 室長 尾形 多佳士先生 シンポジスト： 熊精協理事 寺岡 和廣先生 くまもと心療病院 柿本 実穂 看護師長 桜が丘病院 田尻 威雅 作業療法士 向陽台病院 島 めぐみ 公認心理師 熊本市精神障がい者地域移行支援部会 密着アドバイザー 崎山 徹 精神保健福祉士 熊本市精神保健福祉室 満永 安彦 室長

(2) 栄養部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R4年6月2日	オンライン研修会	事例発表「新型コロナウイルス感染者発生時の対応事例」 桜が丘病院 重岡 真美 管理栄養士 講義：「精神科における栄養食事指導」 独立行政法人 国立病院機構 東京病院 栄養管理室長 阿部 裕二先生 グループワーク「各施設における栄養食事指導の実際」

(3) コ・メディカル部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R4年7月4日 第60回	オンライン研修会	講演「医療・福祉従事者のメンタルヘルス～マインドフルネスについて～」 講師：県立広島大学大学院総合学術研究科教授 日本マインドフルネス研究センター 顧問 久野 真矢先生 日本マインドフルネス研究センター 講師・作業療法士 松藤ことみ先生
2	R5年2月2日 第61回 (看護部小委員会、 熊本市地域移行支援 全体部会合同)	オンライン研修会	テーマ「熊本における精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて～精神障がい者を地域でささえるためにできること～」 講師：医療法人五風会 さつぽろ香雪病院地域連携支援室 室長 尾形 多佳士先生 シンポジスト： 熊精協理事 寺岡 和廣先生 くまもと心療病院 柿本 実穂 看護師長 桜が丘病院 田尻 威雅 作業療法士 向陽台病院 島 めぐみ 公認心理師 熊本市精神障がい者地域移行支援部会 密着アドバイザー 崎山 徹 精神保健福祉士 熊本市精神保健福祉室 満永 安彦 室長

(4) 事務長会

	開催日	会場	内容
1	R4年7月20日	オンライン研修会	講演「2022 精神科の診療報酬改定のポイントと今後の対応」



			講師：(株) リンクアップラボ 代表 酒井 麻由美先生
2	R4年10月18日	オンライン研修会	事例報告：「医療機関の宿日直許可の取得について」 くまもと心療病院 山口 敬介事務長 情報提供：「特定技能制度を活用した外国人介護人材の受入れについて」 説明：株式会社 ONODERA USER RUN 事例報告：あおば病院 井手 幸則事務長、 阿蘇やまなみ病院 嶋田 浩二事務長

# 令和4年度 事業実績

## 1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

## 2 月別利用者実績

月別	利用者数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		計	
		R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
月		人	人	人	人	人	人	人	人
4		42	40	9	7	22	20	73	67
5		44	46	9	7	23	22	76	75
6		46	48	7	7	23	21	76	76
7		42	54	7	7	22	21	71	82
8		44	56	6	7	22	22	72	85
9		40	54	6	7	22	22	68	83
10		38	52	7	9	23	26	68	87
11		38	50	7	9	22	25	67	84
12		38	52	5	9	22	25	65	86
1		40	56	5	9	22	25	67	90
2		36	50	5	10	21	25	62	85
3		42	52	5	10	20	26	67	88
計		490	610	78	98	264	280	832	988
平均利用者数		41	51	7	8	22	23	69	82

\* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

## 3 利用率

(単位:人)

事業所名	提供サービス		R2年度	R3年度	R4年度
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	5,755	5,220	6,633
		1日平均利用者	21.4	19.5	24.7
		利用率	53.5%	48.5%	61.6%
	宿泊型自立訓練 短期入所	延べ利用者	7,745	6,953	8,839
		1日平均利用者	21.3	19.1	24.3
		利用率	52.8%	47.6%	60.5%
あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,989	2,331	2,975
		1日平均利用者	8.2	6.4	8.2
		利用率	81.9%	63.9%	81.5%

あかねワークセンター	就労継続支援B型	延べ利用者	4,957	4,816	5,315
		1日平均利用者	18.5	18	19.8
		利用率	61.4%	59.7%	65.9%
合計		延べ利用者	21,446	19,320	23,762
		1日平均利用者	69.4	63	77
		利用率	57.8%	52.5%	64.2%

\* 利用率:対定員数

#### 4 障害種別利用者数(受給者証標記)

(単位:人)

	精神	知的	身体	重複	計	
あかね荘	33	3	0	1	37	重複の内訳:1(知的・精神)
ホーム	9	2	0	0	11	
ワークセンター	26	3	0	0	29	
計	68	8	0	1	77	重複の内訳:1(知的・精神)

\* 人数は実数

#### 5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

## 6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	4	13	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学 尚、8月、12月、1月の見学者が0人となっているのは新型コロナウイルス感染防止対策の影響です 前年度比、機関数で-2箇所(-8%)、人数で-11名(-13%)でした
5	2	6	
6	3	8	
7	3	7	
8	0	0	
9	1	4	
10	1	2	
11	4	18	
12	0	0	
1	0	0	
2	4	9	
3	2	5	
計	24	72	
1ヶ月平均	2	6	

\* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

## 7 職員配置基準数(令和4年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者		1		1			1	
地域移行支援員		14						
生活支援員						2	1	
看護職員		1						
職業指導員						1		
目標工賃達成指導員						1		
世話人				7				
事務員		1						
実人数								22

\* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

## 8 住居について

	入所前の住居について(R4年度新規利用者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	0	0	0	0	0	0	18	0	18
あかねホーム	0	0	0	0	0	6	0	0	6

	退所後の住居について(R4年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	1	0	7	0	0	0	3	0	11
あかねホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	1

## 9 日中活動について

	退所後の日中活動について(R4年度訓練終了者)								
	就労		B型事業所	就労移行	病院デイケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	一般の事業所に雇用(障害者雇用含む)	A型事業所							
あかね荘	0	1	6	0	1	0	3	0	11
あかねホーム	0	1	0	0	0	0	0	0	1
あかねワークセンター	0	0	0	0	1	0	2	0	3